

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・組み合わせについて、落ちや重なりのないように調べようとしている。

【算数への関心・意欲・態度】

- ・アイスの組み合わせについて、落ちや重なりがないように、図や表を用いて考えることができる。

【数学的な考え方】

(2) 本時の展開 (4/6)

子どもの意識の流れと学習活動	教師のかかわり・評価
<p><前時までの学習> 順列について、樹形図や表を用いることで、落ちや重なりがなく調べられるというよさを感じている。また、その考え方を理解している。</p>	
<p>チョコレート、ストロベリー、バニラ、キャラメル の4つの味のアイスクリームの中から、違う2種類を 選びます。どんな選び方がありますか。</p>	<p>◎既習を生かして、自分の考えを図や表を用いて表現することができる。</p>
<p>樹形図を書いてみよう すべて書き出してみよう</p>	<p>○個の解決の中で生まれる疑問を全体で共有できるようにかかわる。</p>
<p>12通りかな？ 6通りかな？ それとも…？</p>	<p>○全体交流では、順番が関係ないときには、重なりを消す、書かないなど、順列との表現の仕方の違いに気付けるようにかかわる。</p>
<p>今までと同じ？ チョコ・バニラとバニラ・チョコは同じ？ 今までとはちがう感じがする！</p> <p>12通り？ ← 抜かしている？ / 重なっている？ → 6通り？</p> <p>順番を考えたときだ！ すべて書き出す</p> <p>チ・ス チ・バ チ・キ ヌ・手 ス・バ ス・キ バ・手 バ・ヌ バ・キ キ・手 キ・ヌ キ・バ</p> <p>樹形図を書く 線をつなぐ</p> <p>反対になっているのは消したらいい。 一度書いたのは書かなくていいかも。</p> <p>線の数でわかるよ。</p> <p>順番を考えないと</p>	<p>◎順序性を必要としないとき、図や表などを用いて、落ちや重なりなく考えることができる。</p>
<p>6通りだ！</p> <p>順番が関係ないときには、 重なっているものを消せば求められる！</p>	<p>○本時の問題場面を広げ、他の条件の場合についても考えていくよう促す。</p>
<p>アイスを3種類選ぶとどうなるかな。 アイスが5種類だったらどうなるかな。</p>	
<p>アイスの種類や選ぶ数を変えると…？</p>	